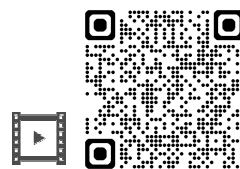


# 路地裏式音階を覚える

音感エクササイズ E001



## 目的

＃(シャープ)や♭(フラット)の付いた音に名前を付けた路地裏式音階を覚えて、コード(和音)の構造や仕組みを理解できるようになる。

### POINT

- 地味で面倒なエクササイズかもしれませんが…
- いつかギターで作曲や編曲をするための

ここで紹介する音楽理論を中心とした音感エクササイズは“ソルフェージュ”などと呼ばれる地味で面倒なトレーニングです。

初心者の頃の私は、その価値を理解できなかったこともあって、こうした基礎訓練を避けて通ろうとしてしまいがちでした。しかしながら、ギターで作曲や編曲をしてみたくなった時、コードの構造や仕組みを理解できていないと、メロディに付けるコードの引き出しが少なくなり、作曲や編曲の幅が狭くなってしまうことに気づいたのです。

路地裏式音階は、そんな初級者から中級者に昇進しようとするときに必須の基礎知識ですので、備えあれば憂いなしと思って、初めから地道に取り組んでおきましょう。

路地裏式音階を歌ってみよう



Track\_E001



### Comment

【 あとは何度も歌って覚えるだけ 】

路地裏式音階の法則とその例外法則を理解したら、あとは何度も歌って覚えるだけです。最初はなかなか覚えられなくても、そのうち自然に口をついて出てくるようになりますので、気長にトレーニングしていきましょう。

## 英語表記に慣れよう

C C<sup>#</sup> D D<sup>#</sup> E F F<sup>#</sup> G G<sup>#</sup> A A<sup>#</sup> B C  
ド ディ レ ロ ミ ファ フィ ソ スィ ラ リ ティ ド

C B B<sup>b</sup> A A<sup>b</sup> G G<sup>b</sup> F E E<sup>b</sup> D D<sup>b</sup> C  
ド ティ テ ラ ト ソ セ ファ ミ メ レ ル ド

### Comment

【 英語表記と音名が頭の中で結びつくまでやろう 】

ポピュラー音楽やジャズで表記されるコードは、英語の「ABCDEFG」の七音で表記してあるのが一般的です。そのため、英語表記と音名が頭の中で結びついていることがコードを攻略する第一歩となります。

英語表記はアルファベット順の「ABCDEFG」の七文字がもとになっており、それぞれ「ティドレミファソ」の七音の音階に対応することを知っておきましょう。

路地裏式音階を歌いながら、英語のアルファベット表記が頭に浮かぶようになったら、このエクササイズは卒業です。